



神奈川県内における 特殊詐欺発生状況等について



令和元年 5月
神奈川県警察本部
生活安全総務課

1 振り込め詐欺認知状況

	平成31年4月末			前年同期比	
	件数	構成比	被害総額	件数	被害総額
特殊詐欺	755	--	約14億9,000万円	-141	-約3億5,300万円
振り込め詐欺	755	--	約14億9,000万円	-138	-約3億5,100万円
オレオレ詐欺	552	73.1%	約9億4,200万円	-126	-約3億4,300万円
警察官等をかたるキャッシュカード手交	366	66.3%	約4億0,000万円	-51	-約1億6,600万円
架空請求詐欺	93	12.3%	約4億3,200万円	-4	+約3,600万円
融資保証金詐欺	2	0.3%	約200万円	-8	-約1,700万円
還付金等詐欺	108	14.3%	約1億1,500万円	±0	-約2,700万円
振り込め詐欺以外の特殊詐欺	0	--	0円	-3	-約100万円
金融商品等取引名目	0	0.0%	0円	±0	±0
ギャンブル必勝法情報提供名目	0	0.0%	0円	-3	-約100万円
異性との交際あっせん名目	0	0.0%	0円	±0	±0
その他の名目	0	0.0%	0円	±0	±0

※ 被害額は、キャッシュカード手交手口によるATMにおける払出（窃取）額を加えた実質的な被害額

※ 前年同期比は、暫定値の比較

2 情報掲示板

キャッシュカードをすり替える手口(窃盗)の増加について

本年に入り、キャッシュカード手交型の手口と同様、

「あなたのキャッシュカードが不正に利用されている。」

「詐欺グループを捕まえたらあなたの口座から現金が引き出されている。」

などと申し向け、その後、銀行協会等の職員をかたって自宅に赴き、用意した封筒にキャッシュカードを入れさせ、

「封をして保管してください。」

「封印をするので印鑑が必要です。」

などと言って、被害者が印鑑を取りに行った際に、あらかじめ用意していたポイントカード等とすり替える手口(窃盗)が増えていますので、注意喚起に御協力をお願いいたします。

振り込め詐欺被害防止のお願い

最近の被害状況をみますと、犯行グループにだまされてしまった高齢者が現金を用意するため、ATMを使用している事案が多く見られます。

この背景には、金融機関窓口では、高齢の方が高額現金を引出しに訪れた際に、職員の方々からの声掛けが徹底されており、詐欺の被害者であることを見抜かれてしまうため、犯人側から、人の目が届きにくいATMに誘導されることが要因の一つと考えられます。

県警察では、だまされた方が詐欺と気付けるとともに、県民の皆様の被害防止への意識を高めるため下記のような具体的な注意喚起をしております。

関係機関・団体の皆様におきましても、引き続き顧客の皆様方等に対し、

『電話でお金が出たら詐欺と考え、警察や家族に確認してください』

『ATMで医療費等の「払戻し」の手続きはできません!』等、具体的に注意を促していただきますよう御協力をお願いいたします。

